

2班

THE GREATEST SHOWMAN

19世紀のサーカスを舞台としたミュージカル映画で、夢を追いかけることの大切さや、本当に大切なものを見失わずに生きることの意味が描かれた作品です。困難や挫折に直面しても、信じた道を歩み続けることで、人は何度でも立ち上がることができるという前向きなメッセージも込められています。

衣装はそれぞれ、髭の生えた女性レディ・ルッツと空中ブランコ乗りのアン・ウィーラーをイメージして制作しました。1体目は紫を基調とした配色で、チュールを重ねることで生まれる色のグラデーションにより、非日常的なモチーフを現代風に再構築して表現しています。2体目は舞台衣装から着想を得て、ショーガールの華やかさと力強さを表現しています。正面と背面で印象を変え、ランウェイで映えるデザインにしました。

②-1



◆担当アイテム：帽子、髪飾り、チョーカー

◆使用素材：綿ツイル 白生地、綿ブロード、綿サテン

◇制作について

帽子はショーの象徴的な存在として、劇中のショーマンらしい風格と存在感を表現するため、形や装飾にこだわった。髪飾りは華やかさを意識し、全体を通して衣装との統一感と舞台映えを重視している。チョーカーは、情熱やロマンスを象徴するモチーフとしてバラを取り入れた。

製作では、帽子にお菓子の空箱を使用し、形崩れしにくいように製作し、羽や花はバランスを見ながら装飾した。チョーカーはモデルの首元への負担を減らすため、柔らかい素材を使用した。

②-2



◆担当アイテム：ノースリーブシャツ

◆使用素材：レーヨン タフタ

◇制作について

19世紀半ばのアメリカをイメージし制作した。サーカスは人々にとって身近な娯楽であり、舞台衣装には目を引く色や装飾が多く使われていた。バーガンディーカラーを基調とし、当時の雰囲気とファッショントレンドの両方に合う点に魅力を感じドット柄を取り入れた。首元のリボンで舞台衣装らしい華やかさをプラスした。

染色では色味と柄の表現に時間をかけて取り組んだ。1.5m程の生地到手作業行ったドット柄の染色は、作業量が多く大変であったが、慎重に進めることができた。色と柄が組み合わせることで、作品全体に奥行きのある表情が生まれたと感じた。

②-3



◆担当アイテム：チュールスカート

◆使用素材：ナイロン ソフトチュール

◇制作について

色は、落ち着いたあるグレーから黒へと変化するグラデーションを設定した。明るいグレーは軽やかで儂い印象を与え、黒に近づくにつれて深みや重さが増すよう意識している。

チュール素材の軽やかさや透け感を損なわないよう、縫製方法に注意しながら進めた。重なり方によって色の見え方が変わるため、何度も位置を確認しながら仮留めを行い、全体のバランスを調整した。また、スパンコールが主張しすぎないように配置や分量にも配慮し、動いた際に自然なきらめきが生まれるよう意識して仕上げた。

②-4



◆担当アイテム：コルセット

◆使用素材：綿ツイル 生機

◇制作について

デザインにはヒョウ柄を取り入れた。ベースにはタイダイ柄を採用することで単調な印象を避け、柄の存在感がより際立つようにした。ヒョウ柄は専用の型を用い、ペースト状の染料を伸ばしながら塗布した。乾燥後、内側の茶色の部分は筆を使い手作業で描いた。

コルセットはモデルに合わせて形を正確に合わせなければならぬため、縫製が非常に難しかった。複数のパーツを組み合わせ、接合部分には固定用の裁縫ボーンを入れて全体の形を整えた。ワイヤーなどが入っているため、縫製の際は特に集中して作業を行った。

②-5



◆担当アイテム：ロングスカート

◆使用素材：綿サテン

◇制作について

紫色をベースとし、全体のバランスを考えて緑色を取り入れることにした。紫色の強さや存在感、華やかさに負けないよう、濃い緑色になるように染色した。また、ドレスの上下で色を分けることで存在感が際立ち、発表のステージにふさわしい仕上がりになると考えた。

縫製作業においては、布量が多く大変だったが、裁断方法を工夫したり、重ね方を調整したりすることで、形にすることができた。一つ一つ手順を確認しながら進め、全体のシルエットが美しく見えるよう意識して仕上げた。

②-6



◆担当アイテム：ジャケット

◆使用素材：綿ツイル 白生地、ポリエステル オーガンジー、綿 天竺

◇制作について

19世紀半ばのアメリカのサーカス衣装と舞台衣装をテーマに、デザインに落とし込んだ。短丈のボレロ風のシルエットは、当時の上流階級や舞台衣装を参考にし、肩や袖にボリューム感を持たせることによって、ショーの華やかさを強調させた。

紫色は、舞台やサーカスで多用された「特別感」と「非日常感」を象徴する色であり、映画の華やかな世界観と一致させた。濃淡の異なる紫色を組み合わせることによって、立体感を出し、照明が当たった時に見える方が変わるように、意識して配色を設定した。

②-7



◆担当アイテム：スカート

◆使用素材：綿ツイル 白生地、ポリエステル オーガンジー

◇制作について

ショーガールのイメージに合わせ、スタイルが際立つタイトなミニスカートにした。調査の中で、ボリュームのあるフリルが付いたボトムが印象的だったため、トップスのコルセットとのバランスを考え、ミニスカートの後ろにフリルを付けた。さらに、デザインを現代的に落とし込むため、やや寂しい印象だった前面にスタッズを施した。

他のアイテムとの親和性を高めるため、フリル部分には紫と緑を段ごとに交互に取り入れた。アン・ウィーラーの衣装に用いられている紫と相性の良い緑を組み合わせ、明度を抑えることで装飾が引き立つ配色とした。